

賢いお金の使い方 三条高1年が学ぶ

つつじが丘
郵便局提案

帯広三条高校（合浦英則校長）で22日、金融教育の授業が行われ、1年生の生徒が、日本郵便の社員から

お金との付き合い方や大切さなどを学んだ。

高校生向けの金融教育が義務化された中、同校に近い帯広つつじが丘郵便局（岸本孝行局長）が授業を提案、昨年が続いて行われた。24日まで3日間、1年生240人が対象。

初日の22日は、芽室郵便局勤務で、日本郵便金融営業部のコンサルティングアドバイザー三木孝さんを講師に迎えた。1年1組の生徒40人が貯蓄や保険、投資などの違いや必要性について学んだ。

生徒らはグループ別にテーマを決め、タブレットを使ってライフプランなどを試算する学習も実施。年金を将来20万円もらうために、高収入が必要と調べるグループもあり、岸本局長が苦笑する場面もあった。

生徒を代表して山本茜さんが「今後の生活に生かしていきたい」と謝辞を述べ

た。岸本局長は「正しい情報を理解することで、犯罪に巻き込まれないことを学んでほしい」と話した。

（馬淵智子通信員）



日本郵便の社員から金融教育の授業を受ける帯広三条高の生徒たち